

2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月7日

上場会社名 藤森工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7917 URL <https://www.zacros.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下田 拓
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 佐藤 道彦 TEL 03-5804-4221
 管理部門統括
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	38,469	20.6	3,479	68.6	3,771	71.3	2,424	24.2
2024年3月期第1四半期	31,893	△4.4	2,064	△16.8	2,201	△23.4	1,952	△21.8

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 3,501百万円 (46.9%) 2024年3月期第1四半期 2,383百万円 (△21.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	130.42	129.21
2024年3月期第1四半期	103.75	102.74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	146,934	96,335	59.8	4,728.06
2024年3月期	141,680	93,642	60.4	4,604.79

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 87,899百万円 2024年3月期 85,607百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	42.00	—	42.00	84.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	63.00	—	63.00	126.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2025年3月期（予想）第2四半期末配当金の内訳 普通配当 53円00銭 記念配当10円00銭

2025年3月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 53円00銭 記念配当10円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	10.2	10,500	25.8	11,000	23.5	6,700	47.8	360.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	19,267,760株	2024年3月期	19,267,760株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	676,742株	2024年3月期	676,693株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	18,591,023株	2024年3月期1Q	18,814,523株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経営成績は、ウェルネス事業、環境ソリューション事業は前年並みに留まったものの、情報電子事業、産業インフラ事業では大きく売上を伸ばしました。その結果、当社グループの売上は前年同期比で増収となりました。

損益面では、原材料価格やエネルギー・輸送コストの高騰、人件費の増加、研究開発費の増加などの減益要因があったものの、情報電子事業や産業インフラ事業の増収効果に加え、生産効率の向上・価格転嫁などの収益向上施策の推進をしたことなどにより、前年同期比で増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高384億69百万円（前年同期比20.6%増）、営業利益34億79百万円（前年同期比68.6%増）、経常利益37億71百万円（前年同期比71.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益24億24百万円（前年同期比24.2%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(ウェルネス事業)

バイオ医薬品等製造用シングルユースバッグ及び関連製品は増収となりました。医薬・医療用包装材については国内での売上を伸ばしたものの、海外子会社での売上が減少したことにより、事業全体で売上は前年並みに留まりました。損益面では、医療機器及び体外診断薬関連製品や再生医療分野において開発費用投入を進めていることなどにより減益となりました。

この結果、売上高は66億90百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は2億64百万円（前年同期比39.9%減）となりました。

(環境ソリューション事業)

つめかえ包装や粧業包装では減収となったものの、液体容器では海外子会社を中心に売上を伸ばしました。損益面では、液体容器の売上増収効果により増益となりました。

この結果、売上高は87億21百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は5億95百万円（前年同期比6.1%増）となりました。

(情報電子事業)

ディスプレイ関連については、主力のプロテクトフィルムで業界再編により当社の競争力が高まり、大きく増収となりました。電子部材関連他についても、半導体市場の冷え込みの影響が緩和し、前年同期で増収となりました。損益面では、増収効果により事業全体で増益となりました。

この結果、売上高は132億66百万円（前年同期比50.6%増）、営業利益は12億96百万円（前年同期比1,048.6%増）となりました。

(産業インフラ事業)

建築資材関連においては、空調用配管及び集合住宅向けボイドスラブ（床構造部材）、ビル用煙突の売上が好調に推移しました。土木資材関連については、トンネル用資材の売上が増加しました。化成品については、半導体、車載フィルム用途の粘着製商品の売上が好調であったことにより増収となりました。事業全体では増収増益となりました。

この結果、売上高は97億90百万円（前年同期比24.1%増）、営業利益は13億23百万円（前年同期比39.2%増）となりました。

	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		前年同期比	
	金額 (百万円)	売上高比率 (%)	金額 (百万円)	売上高比率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	31,893	100.0	38,469	100.0	6,575	20.6
ウェルネス	6,672	20.9	6,690	17.4	17	0.3
環境ソリューション	8,521	26.7	8,721	22.7	199	2.3
情報電子	8,808	27.6	13,266	34.5	4,458	50.6
産業インフラ	7,890	24.8	9,790	25.4	1,900	24.1
営業利益	2,064	6.5	3,479	9.0	1,415	68.6
ウェルネス	439	6.6	264	3.9	△175	△39.9
環境ソリューション	561	6.6	595	6.8	34	6.1
情報電子	112	1.3	1,296	9.8	1,183	1,048.6
産業インフラ	950	12.0	1,323	13.5	372	39.2

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金や短期の有価証券が減少しましたが、売上債権や有形固定資産が増加したことなどにより、前年度末に対して52億53百万円増加の1,469億34百万円となりました。負債は、未払金が増加したことなどにより、前年度末に対して25億60百万円増加の505億99百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が増加したことに加え、円安の進行に伴い為替換算調整勘定が増加したことなどにより、前年度末に対して26億92百万円増加の963億35百万円となり、自己資本比率は59.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

情報電子事業において、業界再編が進むプロテクトフィルムが想定よりも堅調に推移していることに加えて、半導体市場の冷え込みが底打ちしたことで情報記録用材は想定以上に売上が増える予想となることから、前回発表予想を売上、利益とも上回る見込みです。

以上の状況を踏まえて、業績予想を見直いたしました。

2024年5月9日に公表した通期の連結業績予想との差異は以下のとおりです。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	148,000	9,300	9,400	5,800	311.98
今回修正予想 (B)	150,000	10,500	11,000	6,700	360.39
増減額 (B - A)	2,000	1,200	1,600	900	48.41
増減率 (%)	1.4	12.9	17.0	15.5	-
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期)	136,155	8,344	8,910	4,532	241.43

なお、今回の業績予想修正に伴う配当予想(2025年3月期年間配当金合計126円(中間63円、期末63円))の修正はありません。

(注) 上記に記載した予想数値は現時点で入手可能な情報に基づいて算出しており、実際の決算とは異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,516	15,024
受取手形、売掛金及び契約資産	40,972	45,012
有価証券	16,596	16,008
商品及び製品	7,920	7,863
仕掛品	2,136	2,447
原材料及び貯蔵品	5,264	5,113
その他	4,584	3,946
貸倒引当金	△106	△123
流動資産合計	92,885	95,293
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	47,790	47,961
減価償却累計額	△29,828	△30,167
建物及び構築物(純額)	17,961	17,793
機械装置及び運搬具	68,459	69,187
減価償却累計額	△58,077	△58,675
機械装置及び運搬具(純額)	10,381	10,512
工具、器具及び備品	8,370	8,465
減価償却累計額	△7,376	△7,479
工具、器具及び備品(純額)	993	986
土地	8,718	8,813
建設仮勘定	3,738	6,135
その他	2,499	2,582
減価償却累計額	△1,136	△1,249
その他(純額)	1,363	1,333
有形固定資産合計	43,158	45,574
無形固定資産		
のれん	162	152
その他	637	667
無形固定資産合計	800	820
投資その他の資産		
投資有価証券	2,502	2,781
繰延税金資産	1,494	1,634
その他	852	843
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	4,836	5,245
固定資産合計	48,795	51,640
資産合計	141,680	146,934

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,311	26,542
短期借入金	1,579	1,428
未払金	4,618	8,349
未払法人税等	1,813	1,168
契約負債	381	179
賞与引当金	1,683	970
役員賞与引当金	119	32
偶発損失引当金	2,198	2,198
その他	2,075	2,429
流動負債合計	40,781	43,297
固定負債		
長期借入金	75	50
繰延税金負債	55	121
退職給付に係る負債	4,956	4,973
役員退職慰労引当金	592	597
その他	1,577	1,559
固定負債合計	7,257	7,301
負債合計	48,038	50,599
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,600	6,600
資本剰余金	6,515	6,527
利益剰余金	70,265	71,909
自己株式	△2,220	△2,220
株主資本合計	81,161	82,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	827	815
為替換算調整勘定	3,557	4,206
退職給付に係る調整累計額	62	60
その他の包括利益累計額合計	4,446	5,082
新株予約権	351	351
非支配株主持分	7,682	8,084
純資産合計	93,642	96,335
負債純資産合計	141,680	146,934

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	31,893	38,469
売上原価	24,754	29,088
売上総利益	7,138	9,380
販売費及び一般管理費	5,074	5,901
営業利益	2,064	3,479
営業外収益		
受取利息	33	57
受取配当金	30	27
受取保険金及び配当金	3	1
為替差益	20	163
補助金収入	3	1
リサイクル収入	20	20
その他	34	41
営業外収益合計	148	312
営業外費用		
支払利息	10	17
その他	0	3
営業外費用合計	10	20
経常利益	2,201	3,771
特別利益		
固定資産売却益	5	4
投資有価証券売却益	909	-
特別利益合計	914	4
特別損失		
固定資産除却損	6	9
その他	-	1
特別損失合計	6	11
税金等調整前四半期純利益	3,110	3,764
法人税、住民税及び事業税	1,022	1,174
法人税等調整額	△75	△112
法人税等合計	946	1,061
四半期純利益	2,163	2,703
非支配株主に帰属する四半期純利益	211	278
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,952	2,424

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	2,163	2,703
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△535	△16
為替換算調整勘定	751	816
退職給付に係る調整額	4	△0
その他の包括利益合計	220	798
四半期包括利益	2,383	3,501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,999	3,060
非支配株主に係る四半期包括利益	384	441

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱いおよび「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表および前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	1,351百万円	1,341百万円
のれんの償却額	15	16

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ウェルネス	環境ソリューション	情報電子	産業 インフラ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,672	8,521	8,808	7,890	31,893	—	31,893
セグメント間の内部 売上高又は振替高	125	405	204	385	1,120	△1,120	—
計	6,798	8,927	9,013	8,275	33,014	△1,120	31,893
セグメント利益	439	561	112	950	2,064	—	2,064

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ウェルネス	環境ソリューション	情報電子	産業 インフラ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,690	8,721	13,266	9,790	38,469	—	38,469
セグメント間の内部 売上高又は振替高	95	360	221	436	1,114	△1,114	—
計	6,786	9,081	13,487	10,227	39,583	△1,114	38,469
セグメント利益	264	595	1,296	1,323	3,479	—	3,479

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。